

静岡市食の安心・安全アクションプラン2019年度～2022年度 令和２年度12月末時点の実績および令和３年度の実施方針

体系	体系	体系	番号 事業名	事業内容	担当課	R2年度指標	①実績（R２年12月末時点）	②評価（R２年度末時点見込み）	③実績・評価についてのコメント	④R３年度実施方針	⑤R3実施方針についてのコメント	⑥備考
食の安全に関する情報の提供、公開を推進します	生産・流通から消費に至る食の安全に関する情報の収集に努め、提供、公開を推進します。	I－1（1）	1 市内の食品衛生法違反措置状況について報道関係者への情報提供やホームページへの掲載	市内の食中毒や違反措置状況をホームページに掲載することにより、市民に注意喚起をします。	食品衛生課	被害拡大防止等のため公表する必要のある事件発生時、情報の更新を3日以内に行う	事件発生後３日以内に情報を更新した。 事件数：２件	A		継続		
		I－1（1）	2 事業者、消費者に対する食品や飲食危害に関する情報の提供	食品事業者に対しては、主に食品衛生協会を通じて、消費者に対しては各種メディアやホームページ、パンフレットを通じて情報を提供し、広い啓発広報を行います。	食品衛生課	事件発生時、速やかに行う	・食協ニュースにノロウイルスと腸管出血性大腸菌に関する記事を掲載 ・市HPにクドア・イワタイによる食中毒予防啓発リーフレットを掲載	A		継続		
		I－1（1）	3 食品表示に関するパンフレットの配布等、情報の提供	食品表示に関するパンフレットを配布します。	生活安心安全課	講座で、食品表示に関するパンフレットの配布	各講座やイベント等でパンフレットを配布した。	A	-	継続	-	
		I－1（1）	4 特集コーナーを利用しての関連図書の展示による知識の普及	関連図書の展示を行い、「食の安全」に関する知識を身につけてもらいます。	中央図書館	12館で実施	12館で実施。 うち１館は現在実施中。 (12/24～1/26)	A		継続		
		I－1（1）	5 図書館における「食の安全」に関する資料の収集・提供	「食の安全」関連図書を収集し、提供します。	中央図書館	300冊程度購入	66タイトル 196冊購入	B	図書の予算執行額削減の関係により購入数が減少した。各館へ選書の際に配慮するよう伝え、購入数増加を目指す。	継続		
		I－1（1）	6 食の安心・安全ホームページ「たべしずねっと」の運営	消費者を対象に、静岡市の食の安全や食育、地産地消に関する情報を発信するホームページ「たべしずねっと」を管理・運営します。また、食の安全や食品表示の情報、「たべしずねっと」の新着情報などを掲載したメールマガジンを発行します。	食品衛生課	事件発生時、情報の更新を3日以内に行う メールマガジンを12回以上発行	アクセス数：54559 メルマガの発行数：10回 メルマガ発行時、TwitterやFacebookでも情報を配信した。	A	集合形式の講習会の中止が相次いだため、講習内容の手洗い方法や食品添加物の検査に関する動画を公開した。	継続		
	消費	I－2（1）	7 消費者による意見交換会の実施	消費者と事業者による意見交換会を実施します。	生活安心安全課	1回実施	1回実施（10月８日実施、地産地消や食品ロス対策、食の安全等に関する内容、14名参加）	A	-	継続	-	

静岡市食の安心・安全アクションプラン2019年度～2022年度 令和２年度12月末時点の実績および令和３年度の実施方針

体系	体系	体系	番号 事業名	事業内容	担当課	R2年度指標	①実績（R２年12月末時点）	②評価（R２年度末時点見込み）	③実績・評価についてのコメント	④R３年度実施方針	⑤R3実施方針についてのコメント	⑥備考
食の安心・安全に関する意見交換を推進します。	者・生産者・事業者の意見を施策に反映させるよう努めます	Ⅰ－２（１）	８ 監視指導計画（案）の公表及び意見の募集	毎年度、食品の監視指導計画作成時に、ホームページなどで案を公表し、市民からの意見を募集します。	食品衛生課	次年度監視指導計画（案）作成時にパブリックコメントを募集する	パブリックコメントの募集は2月に実施予定。	A		継続		
		Ⅰ－２（１）	９ 静岡市食の安心・安全意見交換会の開催	「静岡市食の安心・安全アクションプラン」について、生産者、消費者、学識経験者等で構成された「食の安心・安全意見交換会委員」からご意見をいただき、プランの策定や進行管理の参考とします。	食品衛生課	2回	1回	A	令和３年当初に第2回を開催予定。	継続		
	リスクコミュニケーションを開催し、食の安心・安全について意見交換を進めます	Ⅰ－２（２）	１０ 生涯学習施設等でのリスクコミュニケーションの開催	市民団体からの依頼や、生涯学習施設の企画により開催される市政出前講座等を利用し、市民に食の安全への理解を深めてもらい、リスクコミュニケーションを行います。	食品衛生課 生涯学習推進課 生活衛生課	申し込みに応じる実施率90%以上	0回	A	年度末に１回実施予定。その他は申込みが無かったため、回数と参加者数は例年より少ない。	継続		
		Ⅰ－２（２）	１１ フレッシュマタニティ教室での食の安全講座開催	保健福祉センターで開催される妊婦教室の中で、食に関する講義と合わせて食品の安全性に関する時間を設け、リスクコミュニケーションを行います。	各区健康支援課 食品衛生課	開催予定に対する実施率90%以上	開催予定に対する実施率100% 8回実施84人参加	A		継続		
	食品表示の監視指導を実施します	Ⅰ－３（１）	１２ 食品販売店、製造業者へ立ち入り時の表示検査	食品販売店、製造業者への立ち入り時に表示のチェックを行い、食品表示の適正化を推進します。	食品衛生課	随時実施	574件	A		継続		
		Ⅰ－３（１）	１３ 食品表示の合同調査の実施	食品表示において、生活安心安全課、食品衛生課と、県の職員が合同で施設の立ち入り検査を行います。	食品衛生課 生活安心安全課	随時実施	0件	C	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により複数課による合同調査を中止した。	継続		

静岡市食の安心・安全アクションプラン2019年度～2022年度 令和２年度12月末時点の実績および令和３年度の実施方針

体系	体系	体系	番号 事業名	事業内容	担当課	R2年度指標	①実績（R２年12月末時点）	②評価（R２年度末時点見込み）	③実績・評価についてのコメント	④R３年度実施方針	⑤R3実施方針についてのコメント	⑥備考
正 化 を 推 進 し ま す		I－3 （１）	1 4 不審・疑問表示の調査と広告の改善指導	食品表示法、健康増進法に係る食品表示違反、薬機法に係る無承認無許可医薬品の発見の通報に対して必要に応じて調査を実施し、表示や広告などの改善、指導を実施します。	食品衛生課 生活安心安全課 生活衛生課	通報に対し、必要に応じ調査、指導を実施	1件	A		継続		
	食品表示制度に対する理解を促進します	I－3 （２）	1 5 食品表示制度についての消費者向け講習会の開催	食品表示制度や表示の見方、健康的な食生活への役立て方などをテーマとした講座を実施し、食品表示の正しい知識を身につけてもらいます。	食品衛生課	2回実施	1回実施12人参加 市内在住の栄養計算・栄養成分表示に関心のある方が参加した	A	第2回を3月に開催予定。	継続		
		I－4 （１）	1 6 食生活改善推進員による地区活動	・乳幼児から高齢者までを対象に地域で食を通じた健康づくりを推進します。 ・地域の特徴にあわせた事業や統一テーマによる取り組みを実施します。	健康づくり推進課	地区自主事業の①実施事業38回以上②市民参加者520人以上	生活習慣予防、高齢者の健康や食生活について、親子で参加する食事について等の教室を実施。  ①29回 ②339人	A	新型コロナウイルス感染症の影響で、３密を避けるために定員を会場定員の半数以下にして実施したこと。感染防止対策をした開催方法が確立して事業を開始したのが9月だったことから、例年より参加人数が減少した。	継続		
		I－4 （１）	1 7 食育普及啓発事業	静岡市食育推進計画に基づき、「食育月間」「食育の日」「街頭キャンペーン」等の普及活動を通じて、静岡市らしい食育を推進します。	健康づくり推進課	みなくる、静岡伊勢丹ウェルネスパーク等を活用した啓発事業実施を年間10回以上	食育月間等に食に関する情報を展示し、健康イベントで栄養相談を実施した。  10回	A	新型コロナウイルス感染症の影響で、例年参加していたイベントや街頭キャンペーンが中止になったため例年より実施回数が減少した。	継続		

静岡市食の安心・安全アクションプラン2019年度～2022年度 令和２年度12月末時点の実績および令和３年度の実施方針

体系	体系	体系	番号 事業名	事業内容	担当課	R2年度指標	①実績（R２年12月末時点）	②評価（R２年度末時点見込み）	③実績・評価についてのコメント	④R３年度実施方針	⑤R3実施方針についてのコメント	⑥備考
		I－4 （１）	1 8 食育応援団事業	食育に関する知識や経験を 持っている個人、団体、企業 を「食育応援団」として登録 し、食育に取り組む市民から の依頼内容に沿った応援団を 紹介、市民に幅広く食育を推 進していきます。	健康づくり推進課	①食育応援団登録数30団体・ 個人 ②応援団の年間利用10回以 上、利用者170人以上	地域子育て支援センター、保 育園、児童クラブ。高等学 校、生涯学習施設、老人福祉 センター等から依頼があり、 食育応援団を紹介した。  ①27団体・個人 ②18回、363人	A	新型コロナウイルス 感染症の影響で依頼 者から中止の申し出 が多かったため、例 年より利用者が減少 した。	継続		
		I－4 （１）	1 9 しずおかカラダにeat75	民間企業や大学等と連携し、 まちぐるみで食を通じた健康 づくりを進めるため、特に健 康に無関心になりがちな若い 世代に主体的に取り組む食育 を推進していきます。正しい 食生活を知り、将来の生活習 慣病の予防等のため、大学生 等若い世代による食育ワーク ショップを実施・周知し、市 民の健康意識を高めます。	健康づくり推進課	①若い世代による食育ワーク ショップの開催２回 ②大学での出張型食育教室の 開催１回	市内の食について学ぶ大学 生・専門学生が健康メニュー を作成するワークショップを 開催。  ①１回 ②０回	A	①若い世代による食 育ワークショップの ２回目は令和３年２ 月４日に開催予定。 ②大学での出張型食 育教室は令和３年２ 月４日に開催予定。	充実	令和２年度までに開 催した食育ワーク ショップで提案され た内容を参考に、食 育啓発冊子を作成 し、高校生や大学生 等の若い世代に配布 する。	
		I－4 （１）	2 0 こども園の巡回、指導	各公立こども園を巡回し、食 育事業、給食室内の衛生管 理、事務などの支援を行いま す	こども園課	1 2 0 回	83回 こども園課 栄養士が公立こ ども園（61園中56園）へ出向 き、帳票類の確認をしてい る。園長先生や調理員から衛 生面や食育について話を聞い ている。	B	コロナ禍の中、給食 室内への立入りは行 えなかった。帳票類 のチェックを行な い、食育についても 確認した。	継続		
		I－4 （１）	2 1 食の安全教室の開催	市内小学校等において、食中 毒、食品添加物等のテーマで 授業を行います。	食品衛生課 環境保健研究所	申し込みに応じる実施率90% 以上	申込みに応じる実施率12% 1回実施 6 人参加	C	十分な感染症対策を おこなえず、実施の 中止を依頼したり、 申込みを取り消した 学校があり、指標に 達しなかった。 たべしずねっとで教 室の内容の一部を公 開する予定。	継続	集合形式での教室実 施を基本とするが、 教室での感染症防止 対策や、集合形式に よらない実施方法も 検討する。	

静岡市食の安心・安全アクションプラン2019年度～2022年度 令和２年度12月末時点の実績および令和３年度の実施方針

体系	体系	体系	番号 事業名	事業内容	担当課	R2年度指標	①実績（R２年12月末時点）	②評価（R２年度末時点見込み）	③実績・評価についてのコメント	④R３年度実施方針	⑤R3実施方針についてのコメント	⑥備考
食の安全に関する教育、啓発を推進します	食品の安全に関する知識の普及に努めます	I－4（１）	2 2 市内公立小中学校での「食に関する指導」の実施	児童生徒に食に関する正しい知識と望ましい食習慣が身につくように、公立小中学校で食に関する指導を実施します。	学校給食課	各学年１回以上	129校中37校において全学年で１回以上実施 公立小中学校に通う児童生徒対象	B	４・５月の臨時休校により授業数が圧迫されたため、食に関する指導の時間を確保することが困難であった。各学校の状況に合わせて、授業1時間の実施ではなく給食時間の訪問や、放送での指導にする等で対応した。	継続		
		I－4（１）	2 3 食の安全に関する講座の開催	食品表示等、暮らしに役立つ講座を開催します。	生活安心安全課	1回実施	１回実施（10月８日実施、地産地消や食品ロス対策、食の安全等に関する内容、14名参加）	A	-	継続	-	事業番号7と同時に開催
		I－4（１）	2 4 食品添加物や細菌などの検査に関する市民講座の開催	小学生等を対象とした食品添加物についての食の安全教室及び、大人を対象とした食中毒についての市政出前講座等の市民講座を開催します。	環境保健研究所	・食の安全教室及び市政出前講座の休止	新型コロナウイルスにより、小学校が休校となりその影響で食の安全教室は開催できていない。 市政出前講座についても、市民からの申込がなく、開催ができていない。 11月に申込が１件あり（参加者30名を予定）、感染対策が実施されていることを確認し、代表者と日程調整をして年度内に開催（R3.3.9）。	C	新型コロナウイルスにより市民講座の開催ができていないが、教室で使用する資料をたべしずネットに掲載することで学校関係者が活用できるようにし、啓発に努めた。また、食品添加物の検査の動画も掲載予定。 市政出前講座は、申込代表者等に感染対策について確認をした上で再開予定。	見直し：次年度は、感染対策を図り、市民講座を２回開催し、実施後のアンケートで満足度80％以上 食品添加物については、市政出前講座に登録し、大人を対象とした食の安全に関する知識の普及に努める。	見直し：小学生等を対象とした食品添加物についての食の安全教室は、事業２１と同じなのでそちらに合わせる。また、今後も必要に応じ、試験検査動画を撮影し、検査について啓発する。	
		I－4（１）	2 5 お茶の美味しい入れ方教室の開催	小学校における総合学習の時間を利用し、お茶の入れ方を学ぶことを通じてお茶に対する味覚をはぐくみ、お茶を中心とした食育を図るとともに、本市基幹産物であるお茶の啓発・消費促進を図ります。	農業政策課	希望する全ての市内小学校で実施。	45校/56校（実施意向調査による当事業を希望する市内小学校数）	A		継続		



静岡市食の安心・安全アクションプラン2019年度～2022年度 令和２年度12月末時点の実績および令和３年度の実施方針

体系	体系	体系	番号 事業名	事業内容	担当課	R2年度指標	①実績（R２年12月末時点）	②評価（R２年度末時点見込み）	③実績・評価についてのコメント	④R３年度実施方針	⑤R3実施方針についてのコメント	⑥備考
		I－4 (１)	2 6 自然体験活動における食育活動の推進	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家の利用団体及び主催事業のプログラムの中で「命をいただく活動」として、井川地区で養殖されたアマゴをさばいて、串焼きにして食べる活動を行っています。また、主催事業の中で、椎茸の菌打ちや、山菜の天ぶらを揚げて食べる事業,井川の在来作物について学ぶ事業等を行っています。	教育総務課	1 6 回	7回 主に小学校の団体が利用。 利用者数：527人	C	C 新型コロナウイルス感染症拡大及びアクセス道路の悪化により学校利用数が減少したため	継続		事業内容の変更：井川の在来作物について学ぶ事業を追加した。
		I－4 (１)	2 7 環境に優しい野外炊飯活動の推進	南アルプスユネスコエコパーク井川自然の家の利用団体及び主催事業参加者に、「食材料」「薪」「水」を大切に使い、野外炊飯を行うエコクッキングの指導を行っています。	教育総務課	1 9 回	1 0 回	B	B 新型コロナウイルス感染症拡大及びアクセス道路の悪化により学校利用数が減少したため	継続		
		I－4 (１)	2 8 食の安心・安全に関する講座の開催	各生涯学習施設における事業として、食の安心・安全に関する講座等を開催します。	生涯学習推進課	37施設中10施設で開催	「食事の基本～外食やお惣菜の選び方」や「元気で長生き！栄養講座」等、食の安心・安全に関する講座等を37施設中 9 施設で開催（11月末時点）	A		継続		
	生産者、食品事業者、消費者等の交流	I－4 (２)	2 9 地産地消を学ぶ講座の開催	各生涯学習施設における事業として、地元食材の活用や地域の食文化について理解を深める講座等を開催します。	生涯学習推進課	37施設中25施設で開催	「しずまえ料理講座」や「地域食材deスイーツ作り」等、地元食材の活用や地域の食文化について理解を深める講座等を37施設中 8 施設で開催（11月末時点）	C	新型コロナウイルス感染症予防の観点から令和２年度は、調理実習を伴う講座の多くが中止となっており、達成率が大きく低下。	継続		
		I－4 (２)	3 0 「ZRATTO!しずおか」による情報発信	市民（消費者）の地場産農産物の利用促進を図るため、ホームページ「ZRATTO！しずおか」を利用して安心・安全な地場農産物を購入できる直売所や観光農園等を紹介します。	農業政策課	52回	63回	A		継続		

静岡市食の安心・安全アクションプラン2019年度～2022年度 令和２年度12月末時点の実績および令和３年度の実施方針

体系	体系	体系	番号 事業名	事業内容	担当課	R2年度指標	①実績（R２年12月末時点）	②評価（R２年度末時点見込み）	③実績・評価についてのコメント	④R３年度実施方針	⑤R3実施方針についてのコメント	⑥備考
	活動を推進し、生産と消費が身近で「目に見える地産地消」の推進に努めます	I－４（２）	３１ 農業まっりの開催	農産物の紹介や販売を通して生産者と消費者の交流を図るための事業に要する経費に対し助成を行います。	農業政策課	年１回開催	11／13（金）から12／25（金）に実施。	A	新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、代替えイベント実施。	継続		
		I－４（２）	３２ しずまえ漁業見学事業の実施	しらす船びき網漁業見学、桜えび漁体験学習、セリの見学、水産加工工場、マグロ冷凍倉庫見学の実施や補助を行います。	水産漁港課	漁業見学に関する事業を２回実施	実施なし	C	新型コロナウイルスの影響で中止とした。	継続	新型コロナウイルスの状況を注視し、実施方法を検討する必要がある。	
		I－４（２）	３３ しずまえ新聞の発行	しずまえの漁業や水揚げされる水産物、しずまえ豆知識、魚料理のコツなどを掲載し、市内小中学校へ配布します。	水産漁港課	年2回、市内小中学校の全児童・生徒約5万人に配布	6月号、11月号の計2回、約5万人に配布	A		継続		
		I－４（２）	３４ 学校給食における地場産物を取り入れた献立の提供	学校給食における地場産物の活用推進を図ります。	学校給食課	月1回以上	全学校給食施設で月１回以上実施	A		継続		
	環境にやさしい農業生産を推進します	II－１（１）	３５ エコファーマーの推進	環境に配慮した農業生産方式に取り組む農業者を認定します。	農業政策課	120人	118人	A		継続		
		II－１（１）	３６ クリーン農産物産地育成事業	農業者団体が行う、農業が市民の生活や環境に与える影響を軽減するための事業に要する経費に対し助成を行います。	農業政策課	13団体	13団体	A		廃止	事業を廃止し、新規事業を予定している。	
		II－１（２）	３７ 学校給食の食材の安全確保	安全な学校給食の実施に資するため、各施設で使用食材及び調理済み食品の定期検査を実施します。	学校給食課	年１回以上	学校給食施設31施設中27施設で１回以上実施 合計222検体	A		継続		
		II－１（２）	３８ 市内で調理、製造、加工した食品の製造業者等の監視指導の実施	各食品や施設のリスクをもとに年度ごとに設定された監視指導計画に基づき、市内で食品を取り扱っている施設への立ち入り検査を行います。	食品衛生課	監視指導計画に対する実施率 90％以上	監視指導計画に対する実施率 50％ 1750件	B	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う職員の減員や人との接触機会低減のため監視指導件数が減少した。	継続		

静岡市食の安心・安全アクションプラン2019年度～2022年度 令和２年度12月末時点の実績および令和３年度の実施方針

体系	体系	体系	番号 事業名	事業内容	担当課	R2年度指標	①実績（R２年12月末時点）	②評価（R２年度末時点見込み）	③実績・評価についてのコメント	④R３年度実施方針	⑤R3実施方針についてのコメント	⑥備考
生産、調理、製造、加工段階における食の安全確保を強化します	食品の調理、製造、加工段階における監視指導を行います	Ⅱ－１（２）	４０ こども園の巡回、指導（再掲）	各公立こども園を巡回し、食育事業、給食室内の衛生管理、事務などの支援を行います	こども園課	１２０回	83回	B	コロナ禍の中、給食室内への立入りは行えなかった。帳票類のチェックを行ない、食育についても確認した。	継続		
		Ⅱ－１（２）	４１ イベント等の情報収集	市内開催の大規模イベント等での飲食店関係出店情報について、庁内各課に情報提供を依頼し、出店に適さない食品が販売されることを防止します。	食品衛生課 保健所清水支所	庁内各課へイベント情報の提供を依頼する。	0回	A	年度末に１回実施予定。	継続		
		Ⅱ－１（２）	４２ イベント等の指導	市内で行われるイベントについて、開催者に対し提供食品の事前指導、説明会、監視指導を必要に応じて行います。	食品衛生課 保健所清水支所	開催者からの相談に対する実施率100％	開催者からの相談に対する実施率100％ 55件	A		継続		
	食品の検査を行います	Ⅱ－１（３）	４３ 市内で生産、調理、製造、加工した食品の収去検査の実施	各食品のリスクをもとに年度ごとに設定された計画にもとづき、市内で生産、調理、製造、加工している食品を事業者提供してもらい、環境保健研究所に依頼して細菌あるいは理化学検査を実施します。	食品衛生課 環境保健研究所	監視指導計画に対する実施率 ９０％以上	監視指導計画に対する実施率 90％以上 249件	A		継続		
		Ⅱ－１（４）	４４ こども園、保育園給食衛生研修会の開催	私公立こども園、保育園の給食業務担当者を対象に食品衛生に関する研修を行います。	こども園課	１８回	0回 1月、正規調理員を対象に行う。 2月、新規調理員を対象に行う。 短時間で研修を行う予定	C	コロナ感染拡大防止の中で、人数が多く集まる研修会ができなかった。資料を配付し、各自で行う研修に変更した。	継続	研修は、人数を少なく回数を増やして行う予定。	
	食中毒の未然防止の周知・啓発を行います	Ⅱ－１（４）	４５ 学校給食衛生研修会の開催	学校給食における食中毒の防止、衛生管理の徹底、調理従事者の衛生意識向上を目的に、各施設の衛生責任者を対象とした研修会及び給食従事者を対象とした研修会を開催します。	学校給食課	2回以上	・学校給食衛生研修会 31施設中23施設において実施 ・衛生マニュアル検討班 11月26日に実施 ・施設視察研修 ４回実施	A	学校給食衛生研修会については、例年対象者を集めて実施しているが、新型コロナウイルス感染拡大を考慮し、資料を配付して各学校給食施設にて実施した。	継続		



静岡市食の安心・安全アクションプラン2019年度～2022年度 令和２年度12月末時点の実績および令和３年度の実施方針

体系	体系	体系	番号 事業名	事業内容	担当課	R2年度指標	①実績（R２年12月末時点）	②評価（R２年度末時点見込み）	③実績・評価についてのコメント	④R３年度実施方針	⑤R3実施方針についてのコメント	⑥備考
	す	Ⅱ－１ （４）	4 6 食品等事業者に対する衛生講習会への講師派遣	食品等事業者の希望に応じて講師を派遣し、食中毒予防、衛生管理などをテーマとした講義を行います。	食品衛生課	申し込みに応じる実施率90％以上	申込みに応じる率50％ 8回実施148人参加	B	十分な感染症対策をおこなえず、実施の中止を依頼したり、申込みを取り消した事業者があり、指標に達しなかった。 例年申し込みのある事業者団体等には食品衛生に関するパンフレットを配布して対応した。	継続		
流通、販売段階における食の安全確保を強化します	食品の流通、販売段階における監視指導	Ⅱ－２ （１）	4 7 デパート、スーパーマーケット、流通センター等食品販売施設の監視指導の実施	監視指導計画にもとづき、大型店、スーパー、流通センターなど食品販売施設の監視指導を行います。	食品衛生課	監視指導計画に対する実施率90％以上	監視指導計画に対する実施率90％以上 15300件	A		継続		
	食品の検査を行います	Ⅱ－２ （２）	4 8 輸入食品や広域流通食品等の収去・買い上げ検査の実施	主に中央卸売市場において、輸入食品や広域流通食品を事業者に提供してもらい、または買い上げ、細菌あるいは理化学検査を環境保健研究所に依頼して実施します。残留農薬の検査や容器包装に有害物質が含まれていないかどうかの検査も行います。	食品衛生課 環境保健研究所	監視指導計画に対する実施率90％以上	監視指導計画に対する実施率90％以上 145件	A		継続		
		Ⅱ－２ （２）	4 9 いわゆる健康食品の買い上げ検査の実施	健康食品を買い上げし、医薬成分等が含まれていないかの検査を環境保健研究所に依頼し確認します。	生活衛生課 環境保健研究所	健康食品を買い上げし、医薬成分等が含まれていないかの検査を環境保健研究所に依頼し確認します。	10検体	A		継続		
	中央卸売市場における食品の安全管理を進めます	Ⅱ－２ （３）	5 0 卸売市場品質管理の高度化の推進	・品質管理実施状況を確認します。 ・品質管理の高度化を推進するため必要な施設の改修を進めます ・品質管理の高度化の推進に伴う衛生措置に関する講習会を実施します。	中央卸売市場	品質管理の高度化の推進のため、市場内への鳥類の侵入防止措置を継続的に実施するとともに、経営展望の品質管理の高度化に向けた戦略を推進する。	市場内への鳥類の侵入防止措置を継続的に実施した。（4月～11月にかけて、青果棟及び水産棟天井ブレース部に設置してあるワイヤーの手直し、清掃を実施。）	A		継続		

静岡市食の安心・安全アクションプラン2019年度～2022年度 令和２年度12月末時点の実績および令和３年度の実施方針

体系			番号 事業名	事業内容	担当課	R2年度指標	①実績（R２年12月末時点）	②評価（R２年度末時点見込み）	③実績・評価についてのコメント	④R３年度実施方針	⑤R3実施方針についてのコメント	⑥備考
衛生管理を進めま す	食品関連事業者のHACCPに沿った衛生管理を進めま す	Ⅱ－３ （１）	５１ HACCPについての事業者からの相談受付と助言	HACCPに沿った衛生管理の導入について食品関連事業者への支援を実施します。	食品衛生課	相談に応じる対応１００％	相談に応じる対応100％ 867件	A	主にHACCP手引書の配布時に事業者からの相談に応じた。	継続		
		Ⅱ－３ （２）	５２ 食品衛生協会及び各食品衛生組合加盟業者との連携	食品衛生協会及び各食品衛生組合加盟事業者と連携し、自主衛生管理の推進を行います。	食品衛生課	協力事業の実施	バザー等を開催する主催者に食品衛生啓発品（ハンドソープ）を配布した。	A		継続		
調査・検査技術の充実を図ります	食品の安全性確保対策の基礎となる調査、検査技術の充実に図ります	Ⅱ－４ （１）	５３ 食品衛生検査施設の業務管理要領（GLP）に則った検査の実施	規格基準が定められている食品及び添加物等の検査を実施します。	環境保健研究所	収去食品等については検査を完全実施	・細菌検査 187検体 ・理化学検査 129検体	A	食品収去検体の検査はGLPに則り実施した。	継続		
		Ⅱ－４ （１）	５４ 適切な項目の検討や食の安全を確認する調査の実施	適切な項目の検討や食の安全を確認する調査を実施します。	環境保健研究所	・新規品目・更新した機器における妥当性評価の実施 ・食品等放射性物質については検査依頼の完全実施	・妥当性評価 ３品目完了 ・放射性物質検査 36検体	A	・食品品目における試験法妥当性評価を実施した。 食品等放射性物質について、検査を実施した。	継続		
		Ⅱ－４ （１）	５５ 食品衛生監視員の技術向上	食品衛生に関する研修会や勉強会へ参加したり、適時情報収集を行ったりすることで、食品衛生監視員の技術向上を図ります。	食品衛生課	①国、県等で実施される講習会に参加する ②公衆衛生研究会で発表する	①国、県等で実施される講習会等に13回参加	A	②令和３年２月ごろに公衆衛生研究会で紙上発表を行う予定	継続		
危機管理体制を充実させます	危機が発生した場合の被害拡大防止及び再発防止に努めます	Ⅱ－５ （１）	５６ 飲食に起因する危害発生時の、詳細で正確なデータの提供	食中毒調査が発生した際の保健所からの依頼に基づく試験検査及び結果を報告します。	環境保健研究所	食中毒疑い等の検査依頼について迅速に対応	189検体（微生物）	A	食中毒疑い等による検査を迅速に実施した。 詳細で正確な成績書を提供した。	継続		
		Ⅱ－５ （１）	５７ 食品に関する感染症発生時の拡大防止	腸管出血性大腸菌および細菌性赤痢等の発生届出受理後に患者宅を訪問し、聞き取り調査を実施します。	保健予防課	事案発生時に速やかに対応	３類感染症６件、４類感染症１件、ノロウイルス等２件の調査を実施	A		継続		
		Ⅱ－５ （１）	５８ 市民からの食品衛生に関する苦情・相談の対応	窓口、電話、電子メールによる食品の苦情・相談について対応します。	食品衛生課 保健所清水支所	苦情・相談に対応100％	苦情・相談に対応100％ 3911件	A		継続		